

木崎中だより

9号

平成29年1月6日(金)  
さいたま市立木崎中学校  
048(886)4302

言うは易し 行うは難し

校長 大澤 敬

明けましておめでとうございます。

いよいよ平成29年、2017年が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様には今年も昨年同様、本校への変わらぬ温かいご理解、ご支援をお願いいたします。生徒の皆さんも新しい年を迎え、新たな希望や決意に燃えていることでしょう。初心を忘れることなく、今年も充実した1年にしていきましょう。

今回のタイトルの「言うは易し 行うは難し (いうはやすし おこなうはかたし)」とは「塩鉄論」という中国の古書にある諺です。「言うのは簡単だが、それを実行するのは難しい」という意味です。この学校便りを書くに当たって数年前の自分で書いてものを読み返してみたところ、4年前に書いた便りの中に私自身の新年の目標が書いてあるものを見つけました。それはこんな目標でした。

「毎日できることをきちんと続ける。結局はそれが近道。」

これは年末の大掃除で家中の床を拭こうという目標を立てたのですが、拭き掃除しようにも床に置いてある物が邪魔で拭き掃除ができない状態でした。結局、拭けるようになるまで片付けることからやらざるを得ず、予定の拭き掃除に取りかかるまでに2日もかかってしまいました。毎日少しずつ片付けたり物を床に置かないことを心掛けたりすればこんなに苦労しなかったという苦い経験から、物事は何でもまとめてやろうとせず毎日少しずつ継続してやろう、それが結局近道である、だから今年はその心掛けようという決意でした。

「自分の身体を過信するな。きちんと手入れを怠るな。」

これは健康診断を毎年受けているにも関わらず、悪いところを改善する努力を全くしていないことや、年末に喉の痛みを放置しておいた結果、入院の一手手前まで悪化し、年末から正月にかけて病院に通い、点滴を受けに行ったりしたこと、毎日適度な運動をし、健康管理をきちんとして、次の健康診断には数値を正常値に戻すという目標を立てたものです。

4年経って振り返ってみると、この2つの目標はいつの間にか忘れていて全く達成されていません。相変わらずこつこつと少しずつ積み重ねることは苦手ですし、間際になってもっと前からやっておけばよかったと後悔することばかりです。毎年人間ドックに行っても、改善の努力をしていないので数値が正常になるわけではありません。いつも不安を抱えたままで、まさに「言うは易し 行うは難し」を実践しているようなものです。皆さんにいろいろ偉そうなことを言っておきながらこの体たらく、我ながら情けなくなります。自分はやはり楽な方へと流れていってしまう意志の弱い人間だと自己嫌悪に陥ります。

新年には皆さんも何かしらの決意や目標を立てたことでしょう。しかし決意をすることは簡単ですが、その決意を継続していくことはとても難しいことです。できなかった私が言うのも気が引けますが、やはり強い意志を持たないと決意を実現させることはできません。私はもう人生の岐路に立つような決意をし、それを実現すべく努力するような場面は少なくなりましたが、皆さんにはまだまだたくさんの方が待ち受けています。特に3年生は今、決意したことはやり抜かねばなりません。やらなければ自分の人生に悔いを残すような大切な年です。今年こそ是非「言うは易し 行うは難し」を克服し、「有言実行」の年になるようにしてください。

私も今年こそは4年前と同じ過ちを繰り返さないようにします。何年かたってまたこれを読み返した時、自己嫌悪に陥らないように。皆さんも一緒に頑張りましょう。